

西脇の魅力を再発見

4ポイントが「ひょうごの景観ビューポイント150選」に選定



明治時代の幕開けとともに誕生した「兵庫県」。以降、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の個性豊かな五国が一つとなり、今日の兵庫県を作り上げてきました。

「ひょうごの景観ビューポイント150選」は、県の誕生から150年を記念した県民参加型の事業で、兵庫県は県内の美しいまちなみや豊かな自然など、人を引きつける素晴らしい「ビューポイント」を募集。投票の結果、西脇市からは番外編を含め4カ所が選ばれています。地域の魅力を「再発見」するビューポイントを訪ね、自身でその素晴らしさを体感しませんか。

◆問合せ
建築住宅課（市役所内線282）



ビューポイントの目印は黒のプレート



番外編

横尾さんが描いた「Y字路」

旧八〇亭

西脇（南旭町）

西脇市出身で名誉市民の美術家・横尾忠則さんが幼少時代に親しんだ風景。市内には横尾さんの代表作ともいえる絵画「Y字路」の舞台となった場所が12カ所あります。中でもY字路の三角地がよく分かるものとして選ばれたのが、《Y字路（暗夜光路N市-V）》の題材となった旧八〇亭です。

最初に描いた椿坂（ホビイ模型店跡）の《Y字路（暗夜光路N市-I）》は、平成30年に旧模型店の建物を黒一色に塗り、立体作品《黒の光 その1》として公開されています。



3

山頂から田園風景を一望

比延山の三角点・大岩壁

比延町

登山口がある城山公園から登ると、傾斜は徐々に急に。山頂手前の最後の200メートルは、ロープ伝いの急な上り坂になります。標高は289メートルの低山ながら、中級者向けの山です。山頂には南北朝時代から室町時代に築かれた比延山城跡があり、さらに北へ向かうと大岩壁が広がる三角点があります。

眼下には加古川が流れ、川沿いに田園風景が広がる西脇市の雄大な景色が望めます。また、矢筈山と同じく比延山でも、秋から冬にかけて雲海が広がる素晴らしい光景を見ることができます。

2

播州織の製品が勢ぞろい

播州織工房館前

西脇（上本町）

約230年前から、西脇市を中心に基幹産業として栄えてきた「播州織」。織物工場の屋根はより多くの太陽光を取り入れるため、特徴のある「のこぎり」の形をしていました。

平成19年、西脇TMO（西脇商工会議所）が播州織のPRと中心市街地の活性化を目的に、かつての織物工場を改修して「播州織工房館」をオープン。館内では、播州織製品の展示販売やファッションショー等のイベントが行われます。

館内での機織りの実演は「音」でも楽しめます



1

秋から冬は雲海が見頃

矢筈山山頂

高田井町

矢筈山は、標高363メートルのおにぎりのような形をした里山。山頂には古い山城の跡があります。眼下には西脇市街地が広がり、天気の良いれば丹波や六甲の山並み、遠くは明石海峡大橋、淡路島まで見渡すことができます。

登山道が整備されていて、約1時間で山頂まで登ることが可能。毎日登る愛好家もいるほど手軽な低山ですが、急斜面の階段道を延々と登るタフなコースでもあります。登山口がある高田井町には、駐車場が整備されています。

秋から冬にかけて、冷え込んだ早朝に見られる雲海は絶景です。